

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議会議員控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

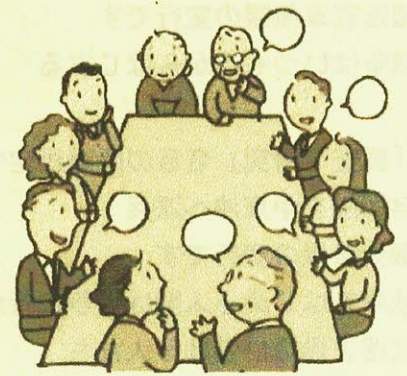
黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



「病院問題」越田市長と懇談 質問、意見続出 対話姿勢は歓迎



昨年12月23日、「越田謙治郎市長との懇談会」を市役所会議室で行いました。10月30日に東谷公民館で開催した私(黒田)の「市政報告とざっくばらん懇談会」の会場で参加者から「病院のことで市長と懇談したい」との要望が出され、私が企画しました。14人の方が参加。市から越田謙治郎市長、作田哲也理事が出席し、山口順子生活相談課課長の司会で、1時間余り懇談しました。

意見の違いも対話重視

市長から「意見が合わないこともあってほしい」「借金は住民が負担するのだ。スタートがおかしくないか」とあいつつ。先に提出していた23項目の質問・要望に口頭で回答。次いで、参加者から質問や要望、意見を出し、市長が答える形で進行しました。

財政的に有利な計画?

市長は「北部で建替えたとしても投資がかさむ」「財政的な安定は現計画の方が有利。半分は指定管理者が負担し、36%は国の交付金。市の

借金355億円は過大

参加者からは「15万7千人の街で355億円もの投資は無謀であり見直しを行うべき。近隣都市では、第3者委員会など市民にオープンで進めている。2017・H27年5月に突然発表し、強引に進めるやり方はいざい破綻する。そうなれば、住民だけでなく職員も路頭に迷わせることになる」「今720億円の借金がある。そのうえに病院の借金が膨らむ。夕張のように破たん自治



負担は14%で済むので」などと答えました。4月から始まった現病院での指定管理者制度の実態分析が重要です。

しかし、計画では市の負担は14%ですが、計画通りいかなかった時のリスクは大きいものがあります。

「いきなり発表」まずい

いきなり発表するといった強引な進め方については、市長は「私ならそうしない。市民との対話を重視する」とこたえ、参加者からも「透明化やオープンな議論」を歓迎しました。

計画は精査必要

このほか、「市長選で市長は病院計画を精査すると言われたので白紙撤回を期待して投票した人も多い」「新病院の建設地が浸水想定地、六価クロム汚染土壌地であり、対策費も余分にかかる」「駐車場がない病院はあり得ない」

新病院成り立つか?

キセラ最適ではないが

計画については「キセラ地域が100%理想的な土地とは言えないが、能勢口周辺・交通の便を考えた時、ここが適当である」と考えている

計画は「期待値」

「市長はスタート前に現状をつかんでいたか」「2年連続減など職員確保が上手くいかず、現病院の患者数が激減している中で新病院の経営が成り立つのか。成り立たなくなると誰が責任を取るのか」「北部に二次救急病院の空白地をつくってはならない、北部の過疎化が進み人口減少に拍車がかかる。税金の減収にもなり、まちづくりの要としての現病院の存続を」と強く求めました。

市長は「看護師の退職は聞いていたが、やり方を変えて、7対1看護を維持できると思っ

説明、議論は続けたい

市長は「選挙公約では、基本線は推進の立場だった。ただ、当選したら白紙委任された、とは思っていない。説明や議論を続けていきたい」と答え、懇談を終えました。

建築業者の入札については「最低応札額に比べ金額は高いが、良い提案の清水建設に決まった」

救急は「集中」がベスト

北部の病院がなくなることに

赤字5億円は変わらず

市長は「損益は5億4000万円赤字で、これは変わっていない」とも。5億円超の赤字は協和会の負担ですが、患者が激減しても赤字が増えないという(人件費の大幅減)しわ寄せがどこかに出ていないのか。心配です。

北部の病院がなくなることに
かてやるより集中したほうが
いい」「北部の地域医療は考え
ていきたい」

指定管理後、激減どうみる

計画を推進するうえで、昨年

タウンミーティング
1月25日(土)13:00~
大和第1自治会館
地域交通デマンドモビリティ
「乗り合いタクシー」何?!
大和巡回~山下~川西病院~
平野駅バスは一体どうなる
の?!市の説明会で聴いてみ
よう*^-^*言ってみよう